

委員会審査の内容

政 策 総 務 常 任 委 員 会

政治倫理の確立のための鴻巣市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例

「可決」

問 市長の資産を自ら広報等で公開する考えはないか。

答 現在は閲覧をお願いしています。このような公開制度があるという情報を掲載する自治体もあるので、検討したいと思います。



市役所ロビーの情報公開コーナー

鴻巣市情報公開条例及び鴻巣市個人情報保護条例の一部を改正する条例 「可決」

問 個人情報保護の問題や公開の問題について、市も一定の線をつくってもらいたい。内容によってもっと柔軟に対応できないか。

答 市の保有する情報は公開が原則です。すべて公開手続きを要することではないので、担当課の判断で公開するよう周知しています。

平成19年度鴻巣市一般会計補正予算（第2号） 「可決」

問 政府資金や銀行からの借り入れについて償還方法の中で融資条件を使うが、今までの借り入れの中で繰上げ償還や低利債に切りかえ、借りがえをしたものがあるか。また低利債に借りがえできるのは銀行借り入れのときか。

答 借りがえや繰上げ償還は財政状況、これからの見通しを勘案した中で行っています。政府資金は借りがえできません。低利債に借りがえできるのは市中金融機関から借りる場合です。

平成18年度鴻巣市一般会計決算認定 「認定」

問 収納対策についてはプロジェクトもあるが、抜本的に考えなければ解決しないのではないか。民間に滞納徴収や臨宅徴収を依頼する考えはないか。

答 公権力ということでは押しさえ等の部分については無理と思います。

問 経常収支比率をもっと楽にするには、経常支出を減らすことが必要だと思うが、今後10年間の職員数の削減目標計画を早める考えはあるか。

答 経常支出の削減については人件費、物件費は職員の努力によって何とかなる部分があるので、きちっと精査しなければならぬと肝に銘じております。

文 教 福 祉 常 任 委 員 会

平成19年度鴻巣市一般会計補正予算（第2号） 「可決」

問 市内小松に出来た老人福祉施設の内容は。

護施設です。デイサービスを中心にショートステイやホームヘルプサービスを備えています。川里地域にも来年一ヶ所開所の予定です。

平成18年度鴻巣市一般会計決算認定 「認定」

問 小・中学校の給食費徴収金の滞納状況は。

答 給食費の未納額は135万円、その後の臨宅徴収で40万円が納付されました。

問 敬老事業で自治会の負担が増えているが。

答 自治会・民生委員のお骨おりで地域開催が実施され出席率も向上しています。

問 学校花いっぱい運動は。

答 市内小中学校に予算を計上し校内花壇等をきれいにし、



学校花いっぱい運動（赤見台中）

さらに地域まで花いっぱいしよう活動しています。

平成18年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計決算認定 「認定」

問 税制改正により国保会計にどのような影響があったか。

答 公的年金控除が140万円から120万円に引き下げられ、国保税は1万6000円上がることから3年かけて激変緩和していきます。

問 その影響を受ける人は。

答 国民年金のみの受給者では該当はなく、多額の年金受給者が対象となります。

平成18年度鴻巣市介護保険特別会計決算認定 「認定」

問 介護保険サービスの要支援1から要介護5までの利用状況は。

答 利用限度額に対して平均51パーセントの利用状況です。

問 家族介護支援で、認知症介護予防教室の参加状況は。

答 30回開催し参加者は318人でした。今後は周知につとめているので参加者は増加すると考えています。

まちづくり 常任委員会

鴻巣市駅前広場条例

「可決」

問 市民が自家用車で送迎をする場合の対応は。

答 公共性のあるバス・タクシーが優先され、駅前にはこれらの乗降所があります。一般車両につきましては、一時的に停車が可能な所もありますが、混雑緩和のため、公共の駐車場（1時間無料）をご利用ください。

問 現在のタクシープールの跡地の利用は。

答 公共の駐輪場を整備する方向で今考えております。



新設されたタクシープール(東口駅前)

市道の路線の認定

「認定」

問 新築に伴う道路部分の補助制度は。

答 建築確認に伴う道路後退部分の寄付採納に対しましては、費用の一部として12万円を、また、領収書の無い場合でも8万2000円を限度として補助しております。

公の施設の指定管理者の指定

「可決」

問 指定管理者の選定についての説明を求めます。

答 鴻巣駅東口再開発ビルは、いろいろな用途を兼ね備えた複合ビルであり、管理組合が3組合できることが方向付けされた中で、管理の境界をできるだけでなく、また、一括管理することでの経費削減を目指し、ビル全体の管理計画が練られました。再開発組合はいくつかの管理会社を比較検討し、その中で再開発組合との管理目的に沿った会社という中で選定されたものがこの(株)丸誠という会社になったわけです。

平成18年度鴻巣都市計画事業

北新宿第二土地区画整理事業

特別会計決算認定

「認定」

問 北新宿の区画整理の今後の展望は。

答 事業計画では、建物移転戸数が315戸ということでも補償費の占める割合が高く、平成19年度からワークシヨップを開催し、本事業の推進を図るべく区画道路の形状、幅員等の変更等を行い事業費の削減をしていかなければならないと考えています。

市民環境 常任委員会

鴻巣市路上喫煙及び空き缶等のポイ捨て並びに犬のふんの放置の防止に関する条例

「可決」

問 市民が所有又は、管理する土地に、空き缶等が捨てられないように必要な措置を講じるよう努めなくてはならないとしているが、具体的にどのようなことか。

答 雑草等が生えていると、ごみが投棄されやすい場所になりますので、土地所有者等に適切な管理をしていただいで、ごみを投げ込まれないように努力をして頂く旨を規定したものです。

平成19年度鴻巣市一般会計補正予算(第2号)

「可決」

問 塵芥処理費の印刷製本費及び備品購入費において、広告看板・ポスター・横断幕それぞれの数量は。

答 看板が電柱96本分、ポスターが200枚、横断幕が5幕を予定しています。

平成18年度鴻巣市一般会計決算認定

「認定」

問 交通指導員は、定数60名に対し現状は50名です。10名欠員について今後の見通しは。

答 通学時の安全確保の面から、指導員の確保については色々な分野をお願いしています。しかし、なかなか手が足りないのが現状で、50名のうち17名を職員で対応しています。交通立しよう指導という指導員本来の資質を考慮すると、単に採用するわけにもいかないのが現状です。

放置自転車撤去保管委託

料について、撤去回数が少なかったことにより約70万円縮減とのことだが、顕著に現れたのは市内3駅のうちどこか。

「可決」

問 鴻巣駅西口です。平成17年度に鴻巣駅西口自転車駐車を開設し、西口周辺から荒川左岸通線まで自転車等放置禁止区域となつていするため、このエリアは極めて減少しました。

答 鴻巣市広域循環バスの利用状況は。

問 平成15年度から比べて毎年1万人程度増え続け、4年間約4万3000人の利用者が増加しました。

答 平成15年度から比べて毎年1万人程度増え続け、4年間約4万3000人の利用者が増加しました。



通学時の立しよう風景(広田小)